

社協

か

か

み

が

は

ら



さぽーとに相談 心くもりのち晴れ

『各務原市社協生活相談センターさぽーと』誕生!

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり

平成 26 年度 事業計画・予算が決まりました!

May 2014

No. 156

表紙を飾る心温まる写真を募集!

氏名、住所、連絡先を明記の上、写真にコメントを添えて投稿ください。  
表紙の写真投稿はこちらまで → [shakyo@chive.ocn.ne.jp](mailto:shakyo@chive.ocn.ne.jp) 締め切り：6月10日(火)まで



サポート君

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり

# 平成26年度 各務原市社会福祉協議会 事業計画が決まりました！



## 重点事業 ★は本年度からの新規事業です

### 1. 住民が主体となる地域の支えあい活動や生活支援の充実

- ★第3期地域福祉活動計画の策定
- ・17支部社協活動や「夢を実現プロジェクト事業」の充実
- ・近隣ケアグループの促進
- ★「生活相談センター さぼーと」の開設（詳細はP5）
- ・社協独自の制度外サービスの実施（福祉有償運送事業・まごころサービス事業など）

### 2. 社協が担うべき社会福祉事業への積極的な参画と展開

- ・居宅介護支援（ケアプラン作成）、訪問介護、障害ヘルパー  
訪問入浴サービス、デイサービスや障害者デイサービス
- ・生きがいセンター川島園事業
- ★障害者特定相談支援事業（障害者プラン作成）
- ・地域包括支援センターの受託運営

### 3. 社協の役割を踏まえた体制整備と情報発信力の強化

- ・社協だよりやウェブサイトによる情報発信
- ・福祉フェスティバル、社会福祉大会の開催
- ★わたしのお福わけ（市民参加型啓発事業）
- ・会員会費一口制度への見直し
- ・法人組織の再編と事務局体制の強化

支部活動の  
充実を  
目指します



子どもたちとの交流（那加一支部）



ささえあいの家での  
折り紙活動（八木山連合支部）



ふらっとでのお茶会（緑苑連合支部）



ボランティア  
ハウス事業の  
普及に  
努めます



ファミリー  
サポート事業の  
利用促進に  
努めます



おもちゃ病院

ボランティア  
活動を  
推進します



障がい者との交流



ファミサポ交流会でのリトミック

障がいのある  
方への支援を  
積極的に  
おこないます



市民福祉講座での障がい者施設の発表

質の高い介護  
保険サービスを  
提供します



ホームヘルプ活動

福祉を身近  
に感じられる  
イベントを  
開催します



近隣ケア  
グループ活動を  
支援します



福祉教育を  
啓発します



新1年生に手さげ  
かばんをプレゼント!

生活相談  
センターさぼーとを  
運営します



## 事業予算

### 総額 3億7677万8千円 (繰入金を除く)

地域福祉活動に…………… 47,698 千円  
ボランティア活動に…………… 2,742 千円  
総合相談事業に…………… 62,132 千円  
生きがいセンター川島園事業に……… 3,730 千円

法人運営等に…………… 72,942 千円  
地域包括支援センター事業に…………… 32,993 千円  
介護保険事業に…………… 154,541 千円

詳細は社会福祉協議会のウェブサイトに掲載しております。 <http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>  
トップページ⇒社協のすがた⇒事業・会計(計画・報告)からご覧になれます。

## 年間活動予定表

4月	点訳ボランティア養成講座(4/21～9/8 18回) 社協支部長・福祉推進員合同会議(24日)
5月	音訳ボランティア養成講座(5/13～7/29 12回) 広報「社協かかみがはら156号」発行(15日) 理事会・評議員会(29日)
6月	市民福祉講座 近隣ケアグループ研修会(1日) 要約筆記体験講座(6/12～7/12 コース別4回) お達者でクッキングの開催(24日)
7月	手話奉仕員養成講座 基礎(7/11～12/19 23回) 自治会連合会長・支部長合同会議(17日) 広報「社協かかみがはら157号」発行(15日)
8月	社協会員募集月間 手話奉仕員養成講座 入門(8/21～12/18 18回)
9月	福祉フェスティバル2014(7日)

10月	赤い羽根共同募金運動 ～12月 理事会・評議員会 広報「社協かかみがはら158号」発行(15日)
11月	映画「ぼくはうみがみたくなりました」上映会(9日、16日) 第48回各務原市社会福祉大会(19日)
12月	歳末たすけあい運動月間
1月	発達障がいについて学ぶ研修会
2月	広報「社協かかみがはら159号」発行(1日) 支部長・福祉推進員合同会議
3月	理事会・評議員会 ファミリーサポート交流会

※予定は変更する場合があります。

# 🏠 ボランティアハウス紹介 🏠

ボランティアハウスは、地域の高齢者や障がいのある方、子育て中の人などが閉じこもらないように集まり、楽しく交流することを目的にしています。歩いて行ける身近な公民館や集会所などに定期的に集うことで地域のささえあい、助け合いの輪が広がります。

## ボ ラ ン タ リ ー ハ ウ ス 駅 前 サ ロ ン

ボランティアハウス駅前サロン（代表：小島江美子さん 那加三支部）は、小島さんの自宅を開放して活動するボランティアハウスです。近くに住んでいる知識や経験豊富な方から話を聞くことができる「知恵袋先生のお話」や、ジョイフル新那加の利用者さんとお菓子づくりなど楽しい活動がたくさんあります。

その中でもおしゃべりランチでは男性参加者が料理人として大活躍！自宅前に鉄板を広げ、豪快に焼きそばやお好み焼きなどを作ります。鉄板で作る出来立てアツアツの料理に参加者からは自然と笑みがこぼれ、おしゃべりも弾みます。男性参加者は「みんながおいしいって言ってくれるので作りがいがあるね！」と話しておられました。

女性だけでは重くて扱いにくい鉄板での料理は大変かもしれませんが、ここぞという時の男性の力が活動の幅を広げてくれます。これからも男性参加者の活躍を期待しています。



**ポイント** 役割を担っていただくことが男性の参加に繋がっているようです。

## ボ ラ ン タ リ ー ハ ウ ス ユ リ の 会

ボランティアハウスユリの会（代表：真鍋宮子さん 蘇原南部支部）は、六軒公民館で活動するボランティアハウスです。このハウスには、90才以上の方が何人も元気に参加されています。「人を大切に」をモットーに、活動中はボランティアの方が頻りに声かけをおこないます。代表の真鍋さんは、「地域の活動に目を向けていただけるように、若い世代の担い手によってささえささえられるハウスを心がけている。さらに高齢の方々は人と顔を合わせることが大切。高齢の方にも喜んでもらえる生きがいになるハウスにしたい」と語られました。

健康体操に参加した男性参加者は、「体を動かすことは楽しい。家に帰ってもやるぞ、絶対やるぞ！」と意気込んでみえました。このような生きがいになる集まりが元気の源かもしれません。

今後も、これからの担い手になる若いボランティアの参加をお待ちしています！



**ポイント** 普段体を動かすことが少ない方も、仲間と一緒に続けられるようです。

# 『各務原市社協生活相談センターさぼーと』誕生!

この4月、『各務原市社協生活相談センターさぼーと』を開設しました。生活上の問題は、高齢、障がい、生活困窮などの一面だけでなく、これらがいくつか絡み合っている中で「どこに相談してよいかわからない。」という声を聞きます。そこで、あらゆる生活相談に答えられるよう相談機能を一元

化しました。社会福祉士などの専門職員を配置し、支部社協や他団体と連携を図り、相談者には肩の荷を軽くして帰っていただけるよう支援を行います。「一人で抱え込まないで。まずは話をお聞かせください。」困ったことがあればまず『各務原市社協生活相談センターさぼーと』へご相談ください。場合によってはご自宅に訪問もいたします。

## くらしの中のさまざまな課題

- 生活困窮
- 孤立(孤独死)の防止
- ひきこもり
- 虐待予防・対応
- 高齢者・障がい者の生活支援
- 地域の困りごと
- 消費者被害
- 財産保全・金銭管理

各務原市社協生活  
相談センターさぼーと  
TEL 058-383-7610

相談



相談者に寄りそい、包括的・継続的に支援していきます。

課題(相談ごと)の解決

連携 協力

ボランティア  
地域の関係機関  
専門機関  
支部社協



## 広がる相談ネットワーク

### 協力機関の声



JAぎふ那加支店 支店長  
小川都義さん

認知症のあるお客様のご家族からご相談があり、『各務原市社協生活相談センターさぼーと』

を紹介しました。早速ご家族様はさぼーとを訪れ、成年後見の申立について相談されたようです。お客様の貯金や保険契約が安全に行われるよう、成年後見制度がもっと身近なものになると良いですね。『さぼーと』は気軽に相談できるので安心ですね。

『各務原市社協生活相談センターさぼーと』では多くの機関と連携・協力しています。

## 出張相談も行っています!

### 相談者の声



磯部一郎さん

老い支度を考える歳になり、妻と最期をどこで迎えるかと話すことがあります。今日は生活相談センターさぼーとへ介護や福祉の相談にきました。じっくり相談ができるので嬉しいですね。

### 相談者の声



宮野喜代子さん

4年前に病気を患い、それ以後家を出ることがおっくうになっていました。民生委員さんから八木山ささえあいの家で、出張相談があると聞き、近くなので来てみました。いろいろと話を聞いてもらえて、気が楽になりました。

昨年度、社協緑苑連合支部に『ふらっと』、社協八木山連合支部には『ささえあいの家』という支部社協の活動拠点がオープンしました。『各務原市社協生活相談センターさぼーと』では、身近なところで気軽にお話をうかがえるよう、これらの拠点で出張相談会を毎月開催しています。

# 輝きインタビュー ～将来を担う福祉のたまご～

## ボランティアを通して地域に貢献

社会福祉協議会ボランティアセンターは、ボランティア活動がしたい人とお願いしたい人の相談を受け、支援を必要としている方への橋渡しをします。ボランティアセンターに登録している東海学院大学 BBS サークルは青少年の更生を支援しており、子育て中の母親を応援するための託児ボランティアなども行っています。このサークルを結成した岩砂祐香さん（21 才）にボランティアに対する思いをインタビューしました。



### ◎ボランティアに興味をもったきっかけは？

高校の授業で行った川の清掃です。地域の方に「ありがとう」と言われたことがうれしくて最初は嫌々だったけど人のためになる活動に興味を持ちました。

### ◎ボランティアサークルを結成したきっかけは？

大学生のイメージがサークル活動だったので、何かを始めるならボランティアサークルだと思いました。友達と先生に相談をしたのが始まりです。声をかけてメンバーを集め、先生に社会福祉協議会のボランティア登録を教えてくださいまして今にいたります。

### ◎ボランティアをしてよかったことは？

「ありがとう」って言ってもらえる時が、一番うれしいです。人の役に立てたという達成感や充実感を感じることができます。

### ◎今後やっていきたいことは？

特に興味があるのは更生保護の分野です。少年たちとは年が近いことで分かり合えることも多いと思います。非行のある方のもとを訪れて、話を聞いたり一緒に遊んだりすることで更生のお手伝いができればと思います。



※東海学院大学 BBS サークルは非行少年の社会復帰支援を目的に、平成 25 年 4 月に発足したボランティアサークルです。さまざまな問題を抱える少年と、兄や姉のような身近な存在として接しながら同じ高さの目線で相談にのったり遊んだりすることで、更生に繋がる活動をしています。その他にも、障がい児施設の訪問や託児などさまざまなボランティア活動も積極的におこなっています。

※更生保護とは、犯罪を犯してしまった方や非行のある少年が社会の中で健全に更生できるように支援し、再犯を防止する活動のことです。

## 託児ボランティア 募集！

子育てをしているお母さんたちが講演会やサークル活動に参加している間の託児ボランティアを募集しています。子育て支援に関心のある方や子どもが好きな方の協力をお待ちしています。



総務地域福祉課 TEL 058-383-7610

## お話し相手 ボランティア募集！

地域の中には一人暮らしの高齢者や、障がいのある方など他者との交流が少なく 1 日誰とも話すことなく過ごしている方がみえます。その方々のもとを訪れ、話し相手や散歩など一緒に過ごしてもらえるボランティアを募集しています。

総務地域福祉課 TEL 058-383-7610

## 要約筆記体験講座

聞こえに障がいがある方（中途失聴者）に、講演や研修会の場でOHPやノートに話す内容を書き写して伝えるサービスが要約筆記です。平日夜間と土曜日に開催いたしますので、ぜひ仕事をされている方の参加もお待ちしております。

### 日 程

コース	1回目・2回目・3回目	4回目
①	6/12(木)・6/19(木)・6/26(木) 19:00～21:00	7/12(土) 9:30～11:30
②	6/21(土)・6/28(土)・7/5(土) 9:30～11:30	

場 所：総合福祉会館 3階 研修室  
(那加桜町 2-163)  
定 員：各 20名 (1回のみ参加可)  
申 込：総務地域福祉課  
TEL 058-383-7610

## 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者が日常使用しているコミュニケーションの方法の一つである手話を学ぶ講座です。講座を修了後も継続して活動して下さる方を募集します。



講座名	対 象	日 時	会 場	定員・参加費等
入門編	初めて手話を学ばれる方を対象とします。	8/21～12/18までの毎週木曜日 (全18回) 13:00～15:00	総合福祉会館 3階 研修室 (那加桜町 2-163)	定員 40名 受講料 1,235円
基礎編	入門課程を修了された方を対象とします。	7/11～12/19までの毎週金曜日 (8/15をのぞく全23回) 19:00～21:00		定員 40名 受講料 1,512円

申 込：総務地域福祉課 TEL 058-383-7610

### お詫びと訂正

生涯学習情報かかみがはら平成26年春号の中で「手話奉仕員養成講座」「要約筆記体験講座」の開催日時に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

### 料理って楽しい！

## お達者でクッキングを開催します

### 栄養満点の食事で来たる夏を乗り切ろう！

ひとりでの食事は食欲が出なかったり、食材の買い物や調理が面倒だったりすることはありませんか？仲間と、会話を楽しみながらゆっくり食べる食事は、心もからだも元気にしてくれます。料理の楽しさ、食べる喜びを味わいましょう！



日 時：6月24日(火) 10:00から  
会 場：総合福祉会館 3階 料理室  
対 象：一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方  
参加費：材料費 500円  
持ち物：三角巾、エプロン  
定 員：25名  
協 力：市食生活改善協議会  
申 込：総務地域福祉課  
TEL 058-383-7610



## ファミリー・サポート・センターを利用してみませんか？

ファミリー・サポート・センターは『急な用事で外出しなければならなくなった』『幼稚園・学童保育の迎えに間に合わない』『忙しい日常を離れて、ちょっとリフレッシュしたい』など困った時に利用会員とサポート会員を結ぶ、有償の子育て助け合い組織です。利用には事前に会員登録が必要となります。利用会員・サポート会員ともに募集中です。お気軽にお問い合わせください。

お試し券  
配布!!

皆さまに広くご利用していただくために、平成26年度より新規登録時に初回1時間無料券を配布します！ぜひご利用ください。

利用会員 小学3年生までの子ども(乳幼児を含む)を持つ方  
サポート会員 育児経験があり、熱意のある方  
(利用会員とサポート会員を兼ねることは可)  
そ の 他 原則、子どもを預かる場所はサポート会員宅となります。  
申 込 総務地域福祉課  
TEL 058-383-7610



## 収集ボランティアサロンへようこそ

収集ボランティアサロンとは使用済み切手を切り取りするボランティア活動です。切手は収集家に買い取っていただき、その収益は各務原市内のボランティア活動に使われます。平成25年度も多くの古切手を買い取っていただくことができました。



ボランティアに興味のある方！ぜひハサミを持ってボランティアルームにお立ち寄りください。

時間：10:00～12:00  
場所：総合福祉会館2階  
ボランティアルーム

5月16日(金)
6月2日(月)
7月18日(金)
8月4日(月)
9月19日(金)
10月6日(月)
11月21日(金)
12月1日(月)
1月16日(金)
2月2日(月)
3月20日(金)

## 第1回 市民福祉講座の開催 —近隣ケアグループ研修会—

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるまちづくりを目指しています。このたび、「見張りにならない見守り活動のすすめ方」をテーマに市民福祉講座を開催いたします。内容は、近隣ケアグループの活動についての説明とご近所福祉クリエイター酒井保氏を迎えての講演会です。地域のささえあい活動に興味のある方の参加をお待ちしております。



日時：6月1日(日) 13:30～15:30  
会場：各務原市民会館(蘇原中央町2-1-8)  
その他：入場無料  
問合せ：総務地域福祉課 TEL 058-383-7610

## わかとスッキリ! あたまの体操してみませんか?

文字を並び替えて1つの言葉にしてください。

問題① **ディゴクウールン**

問題② **ツニンゴウギガヨ**

問題③ **シンーネヨーカ**

ヒント 5月にまつわるものです



はがきに問題①～③の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差しあげます。

宛先：〒504-0912 各務原市那加桜町2-163  
各務原市社会福祉協議会まで

四月から各務原市社協に入社し、早一カ月が経ちました。四月の頃は、毎日境川の桜並木を眺めながら出社していましたが、今ではすっかり緑がおいしげる季節となりました。

また、社協に来て日々新たな出会いがたくさんありますが、そこで出会う方々からの笑顔のあいさつには本当に元気をいただきます。「基本はあいさつから」という言葉通り、笑顔のあいさつを交わすだけで、人とのつながりや温みを感じます。

まだまだ未熟な私ですが、今後とも、笑顔のあいさつを心がけ、人との絆を大切にしながら、一生懸命に頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします!

森沙弥香

ひ  
と  
り  
ご  
と

## 善意のご寄付をいただき 誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成25年12月27日～平成26年3月31日

### 【金 銭】

匿名	¥12,200
パジェロ製造労働組合	¥50,000
岐阜基地航空祭臨時売店会	¥215,687
匿名	¥40,988
各務原商工会議所女性会	¥20,000
匿名	¥5,000
匿名	¥5,000
波多野耕三	¥18,000
宇野巳代治	¥5,328
小さな善意で大きな愛の輪募金運動	
ユニー(株) ユーホーム各務原店	¥14,146
ユニー(株) アピタ各務原店	¥38,823
ユニー(株) ピアゴ各務原店	¥12,600
堀口秀雄	¥20,000
ライフカレッジ鷺沼中	¥17,059
かかみがはらキルト展運営委員会	¥30,000
岐阜信用金庫	¥40,000
各務原カラオケ同好会	¥19,783
浜見駐輪会	¥30,000
鈴木昭彦	¥100,000
山口車体工業(株)	古切手
青海清郎	古切手



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ウェブサイト

各務原市社協

検索